

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり7.47人の報告がありました。減少傾向ですが、依然として多い状況です。手洗い、こまめな換気、医療機関受診時等の効果的な場面でのマスク着用など、基本的な感染対策を徹底しましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり4.86人の報告があり、前週の約2.0倍に増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が8件ありました。手洗い、咳エチケット、換気などの感染対策を心がけましょう。

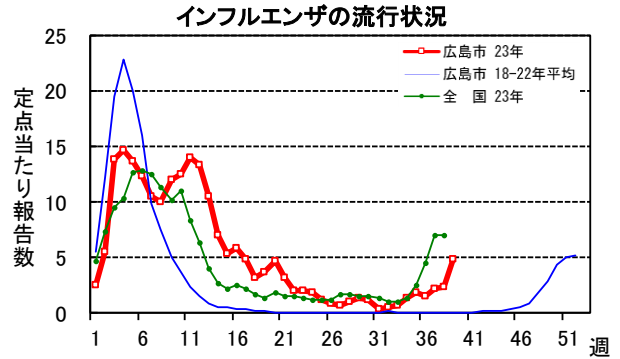
3 ヘルパンギーナ

定点当たり1.75人の報告があり、前週の約1.7倍に増加しました。ヘルパンギーナの感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染です。回復後も2～4週間程度は便中にウイルスが排泄されます。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

4 デング熱

1件(推定感染地域:国外)の報告がありました。デング熱は蚊が媒介する感染症で、近年は、ほとんどが輸入症例(日本国外で感染)です。デング熱の発生地域を訪れる際は、長袖・長ズボンを着用し、蚊の忌避剤(虫除けスプレー)を使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。

【参考】デング熱について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000131101.html>



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減		
												急増減	増減	
インフル	インフルエンザ	175	4.86	0.07	↑	小児科	ヘルパンギーナ	42	1.75	0.76	↗	急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	269	7.47		↔		流行性耳下腺炎	-	-	0.11		増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
小児科	RSウイルス感染症	4	0.17	1.00		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	12	0.50	0.14			流行性角結膜炎	5	0.63	0.65		横ばい	↔	ほとんど増減なし
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	2.04	0.89	↔		細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。		
	感染性胃腸炎	51	2.13	2.57	↔	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-		インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)		36
	水痘	1	0.04	0.07			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03		小児科定点数		24
	手足口病	78	3.25	1.17	↔		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		眼科定点数		8
	伝染性紅斑	-	-	0.11			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		基幹定点数		7
	突発性発しん	4	0.17	0.26								(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)		

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	99	10歳代、40歳代
4	デング熱	1	2	40歳代・推定感染地域:国外
5	梅毒	11	222	20歳代・4人、30歳代・3人、40歳代・2人、50歳代・1人、60歳代・1人

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	感染症																				
		インフルエンザ	(COVID-19) 新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
報告数	第35週	66	414	13	11	51	62	3	103	-	7	31	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	第36週	56	536	9	6	64	68	7	97	-	4	24	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	第37週	79	434	8	7	53	56	1	73	-	6	27	1	-	5	-	-	-	1	-	-	
	第38週	87	330	6	12	48	49	1	60	-	9	25	2	-	10	-	-	-	-	-	-	
定点当たり	第35週	1.83	11.50	0.54	0.46	2.13	2.58	0.13	4.29	-	0.29	1.29	0.08	-	0.13	-	-	-	-	-	-	
	第36週	1.56	14.89	0.38	0.25	2.67	2.83	0.29	4.04	-	0.17	1.00	-	-	0.13	-	-	-	-	-	-	
	第37週	2.19	12.06	0.33	0.29	2.21	2.33	0.04	3.04	-	0.25	1.13	0.04	-	0.63	-	-	0.14	-	-	-	
	第38週	2.42	9.17	0.25	0.50	2.00	2.04	0.04	2.50	-	0.38	1.04	0.08	-	1.25	-	-	-	-	-	-	
全国	第37週	7.05	17.59	0.40	1.45	1.78	3.21	0.08	1.50	0.02	0.27	0.78	0.05	0.01	0.78	0.01	0.03	0.03	-	-	-	
	第38週	7.09	11.01	0.23	1.31	1.36	2.51	0.08	1.32	0.02	0.20	0.56	0.05	0.01	0.68	0.02	0.02	0.04	-	-		

## 【参考】広島市における梅毒の発生動向について

今年の累計報告数は222件となり、多い状況です。年齢別では、男性は20歳代から50歳代の幅広い年代に多く、女性は20歳代が最も多くなっています。

梅毒は、主に性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。早期の治療で完治しますが、治療をしないまま放置すると、心臓や血管、脳などの臓器に病変が生じ、時には死に至ることもあります。

また、妊娠している人が感染すると、死産や早産になったり、生まれてくる子どもの神経や骨などに異常をきたす先天梅毒になることがありますので、感染予防と早期発見・早期治療が大切です。

### 保健センターの無料・匿名の梅毒検査

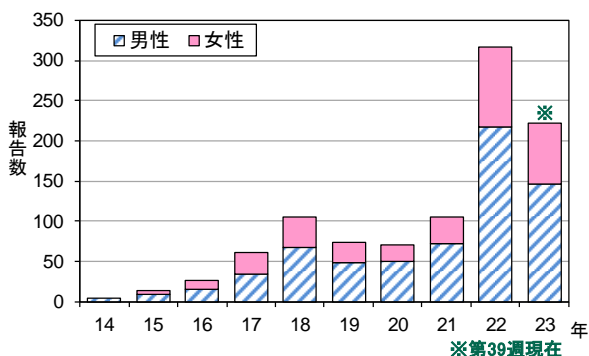
広島市の各区保健センターでは、無料・匿名の梅毒検査を実施しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

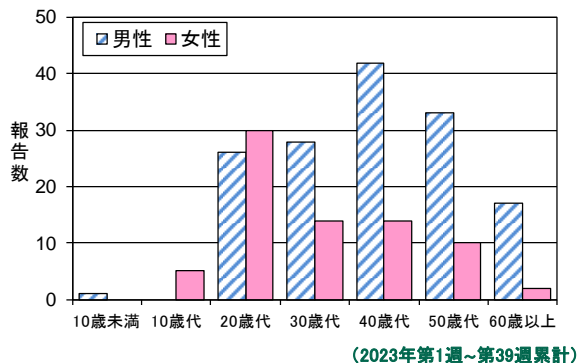
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>



梅毒の年間報告数の推移(広島市)



梅毒の年齢階層別報告数(広島市)



### 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30～18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



#### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp